検討対象種の類型化の結果及び詳細検討対象種

類型	特徴	検討対象魚類		生息環境	産卵環境	産卵基質	繁殖に伴う移動
		詳細検討対象種	その他の種				
類型Ⅰ	産卵や成長に伴い、河川や湖沼、水路、水田等異なる生息環境を移動して利用する種	①アユモドキ（河川本流やその接続水路と水田を繁殖のために行き来する生態を持つ種） ②オオガタスジシマドジョウ（湖やその接続水路と水田周辺の細流を繁殖のために行き来するという生態を持つ種） ③ニゴロブナ（湖とそこに小水路などで繋がった内湖を繁殖のために行き来する生態を持つ種）	ゲンゴロウブナ、キンブナ、ゼゼラ、ドジョウ、トサシマドジョウ、サンヨウコガタスジシマドジョウ、トウカイコガタスジシマドジョウ、サンインコガタスジシマドジョウ、ビワコガタスジシマドジョウ（ヨドコガタスジシマドジョウを含む）、チュウガタスジシマドジョウ、オンガスジシマドジョウ、ハカタスジシマドジョウ、アリアケスジシマドジョウ、タンゴスジシマドジョウ、ヤマトシマドジョウ、オオヨドシマドジョウ	汽水・河川・水路・水田・ため池・湖沼	河川・水田・水路（細流）・湖沼・池沼・ため池・氾濫原・ヨシ帯	水草・底質・ばらまき	産卵移動
類型Ⅱ	河川や水路・ため池を主な生息環境とし、産卵に二枚貝を利用する種	④ミヤコタナゴ（水田周辺の比較的流れのある水路や細流といった比較的閉じた半自然環境に生息し、二枚貝に産卵する生態を持つ種） ⑤ゼニタナゴ（水路やため池といった比較的閉じた半自然環境に生息し、二枚貝に産卵する生態を持つ種。関東・新潟以北の本州等に生息。） ⑥ニッポンバラタナゴ（水路やため池といった比較的閉じた半自然環境に生息し、二枚貝に産卵する生態を持つ種。大阪府、香川県、九州中北部に生息。）	ヤリタナゴ、アブラボテ、イチモンジタナゴ、タナゴ、イタセンパラ、シロヒレタビラ、アカヒレタビラ、キタノアカヒレタビラ、ミナミアカヒレタビラ、セボシタビラ、カゼトゲタナゴ、スイゲンゼニタナゴ、カワヒガイ	河川・わんど・水路・ため池・湖沼	河川・水路（細流）・ため池・湖沼・わんど・氾濫原	二枚貝	なし
類型Ⅲ	水路やため池を主な生息環境とし、水路等で水草等に産卵する種	⑦カワバタモロコ（水路や細流、ため池の水草などの豊富な環境に生息し、水草を産卵基質とする生態を持つ種） ⑧シナイモツゴ（湖沼やため池の水草などの豊富な環境に生息し、石などを産卵基質とする生態を持つ種。中部地方以北の本州に生息。） ⑨メダカ北日本集団・南日本集団（水路やため池の水草などの豊富な環境に生息し、水草などを産卵基質とする生態を持つ種。）	ヒナモロコ、ヤチウグイ、ウシモツゴ、ホンモロコ、ヨドゼゼラ、ツチフキ、デメモロコ、ギバチ、オヤニラミ、タナゴモドキ、タメトモハゼ、ゴシキタメトモハゼ、ジュズカケハゼ富山固有種、ジュズカケハゼ関東固有種、トウカイヨシノボリ、シマヒレヨシノボリ、タイワンキンギョ	河川・わんど・水路・ため池・池沼・湖沼	河川・水路（細流）・水田・ため池・池沼・湖沼・氾濫原	水草や石等の基質など	なし
類型Ⅳ	湧水が豊富な環境に生息する種	⑩ホトケドジョウ（湧水を水源とする水草などの豊富な環境に依存する種。） ⑪ハリヨ（湧水を水源とする水草などの豊富な環境に依存する種。滋賀県北東部、岐阜県南西部に局在）	スナヤツメ南方種、スナヤツメ北方種、エゾホトケドジョウ、ナガレホトケドジョウ、ホトケドジョウ属の1種（東海集団）、福島県以南の陸封のイトヨ太平洋型、本州のイトヨ日本海型、本州のトミヨ属淡水型、ムサシトミヨ、トミヨ属雄物型、エゾトミヨ	湧水の流出する河川・水路・ため池・湖沼	湧水の流出する河川・水路（細流）	水草や底質	なし

※３種（フナ属の１種（琉球列島）、ワタカ、タウナギ属の１種（琉球列島））については、生態的特殊性、または生態情報不足により、上記の類型化に含まれなかった。